

生徒 1

ある帰還宣教師が伝道について話した聖餐会に出席したと、あなたのグループに想像してもらいます。その話の中で、彼は数人の人々にバプテスマを施したと語りました。一週間後、別の帰還宣教師が彼女の伝道について聖餐会で話しました。彼女は多くの人々を教えました、最終的にその人たちがバプテスマを受けたのは彼女が他のエリアに転勤した後だったと語りました。

- 伝道中に数人にバプテスマを施した宣教師は、エリアを離れた後になるまで求道者がバプテスマを受けなかった宣教師よりも多くの成功を収めたと言ったとしたら、どのように応じますか。

一枚の紙に「植えた」、そして「水を注いだ」という言葉を書いて、それをあなたのグループに見せます。パウロは宣教師を、種を植え作物に水をやる人々と比較したことを説明します。コリントの聖徒たちが誰からバプテスマを受けたかによってグループに分かれ始めたことを、グループメンバーに思い出してもらいます。彼らは、バプテスマを施してもらった人の重要性によって教会での自分の地位が決まると信じていました。(1コリント1:10-16参照)

あなたのグループのメンバーと、1コリント3:4-9を順番に声に出して読みます。グループの他のメンバーには、聞きながら、コリントの人々を教え、バプテスマを施した宣教師たちについてパウロが何と言ったかを見つけてもらいます。

- 5節によると、パウロは自分とアポロが何であったと言いましたか。「導いた人」は僕を意味すると説明します。
- 6-7節によると、パウロは福音の種を植える宣教師と、これらの種が育つよう助ける宣教師について何と言いましたか。

必要に応じて、7節にある「植える者も水をそそぐ者も、ともに取るに足りない」という語句を指摘し、パウロがこれらの語句を使って、これらの役割のどちらも神の役割ほど重要ではないことを教えたと言います。

- 「成長させて下さる神」(7節)という語句はどういう意味ですか。(聖霊を通じて人々の心の中で改宗につながる変化を起こされるのは神であり、教えたりバプテスマを施したりする者ではない。)
- 1コリント3:6-7から、人々がイエス・キリストの福音に改宗するようになるのを助けるときわたしたちの役割と神の役割について、どのような真理を学ぶことができますか。(グループのメンバーが答えたら、それぞれの聖典の1コリント3:6-7の横に次の真理を書くよう勧めます。**わたしたちは人々がイエス・キリストの福音について学ぶのを助けることはできるが、人々が改心するのは聖霊の力によるのである。**)

人々が聖霊を受けて改宗するには、彼らが信仰を働かせ、神の戒めを守ることによって自分の役目を果たさなければならないことを明確にします。

- この真理を知ることは、コリントの聖徒たちがより一致するために、どのように役立ったと思いますか。

二人の帰還宣教師についての状況にこたえるために、この真理がどのように役立つか、あなたのグループに尋ねます。

- 改宗するのはわたしたち自身の力ではなく、聖霊の力によることを理解することが大切なのはなぜですか。

